



令和7年度 古川黎明中学校・高等学校進路情報

黎明キャリア通信

No. 3

令和7年6月23日発行

本校HPはこちら



宮城県古川黎明中学校・高等学校
進路指導部 文責 山田 直人



前期中間考査終了 高3進学課外Ⅱ期が始動

●高3進学課外Ⅱ期について

6月24日(火)から9月9日(火)まで、高3進学課外Ⅱ期が始まります。Ⅱ期は前期期末考査の前までの間に共通テスト対策や記述問題対策など、各教科・科目の教員が生徒の第一志望合格をサポートします。時程については以下の通りで、1コマ70分となります。高1・高2・中学生のみなさんも、高3のこの時期にある進学課外を受けている自分を想像しながら、黎明での貴重な日々を充実させてほしいと思います。

時程	授業日	①16:15～17:25 ②17:35～18:45 ※設定なしの場合あり
土曜・夏休み	① 8:30～ 9:40 ② 9:50～11:00 ③11:10～12:20	
	④13:10～14:20 ⑤14:30～15:40 ⑥15:50～17:00 ※設定なしの場合あり	

●高3進路comⅢ 進路別ガイダンス

6月13日(金)に高3進路別ガイダンスを実施しました。大学・専門学校志望者には、推薦・総合型での出願の方法やメリット・デメリット、合格までの流れや合格後の心構えなどを話しました。難関大学志望者は5月から指導が始まっていますが、ここからすべての大学・専門学校志望者への指導が始まります。短大志望者には宮城誠真短期大学の井坂副学長を招聘し、短大に関する説明をいただきました。公務員志望者には、東京法律専門学校の齋藤氏を招聘し、公務員試験対策セミナーを実施し、民間就職志望者には、企業研究の時間を設けました。進路別の指導を充実させ、多方面で活躍する黎明卒業生OB・OGを育てます。

●R8大学入学共通テストについて 高1・高2の生徒もアンテナを高く早めの準備を!

今年度の共通テストは令和8年1月17日(土)18日(日)に行われます。日程を掲載しますのでご覧ください。
今年度から「Web出願」という新しい出願方法となります。詳細が分かり次第、説明を行っていきますのでご家庭でもお知らせください。また、今回のキャリア通信から数回に渡って、本校教員による「共テ分析」を掲載します。高3だけでなく、高1・高2のみなさんも、分析を読みつつ、既習部分の問題にぜひチャレンジしてみてください。

1日目		2日目	
2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40	地理歴史 公民	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40	理科
13:00～14:30	国語	13:00～14:10	数学①
15:20～16:40	外国語	15:00～16:10	数学②
17:20～18:20	リズニング	17:00～18:00	情報

【本校教員によるR7共テ分析】

★英語リーディング

共通テストの問題はToshin.comからの閲覧が便利です➡



分析・講評				
大問1	大問2	大問3	大問4	大問5
水槽で初めて魚を飼う人に向けたパンフレットを読み、その内容に関する問いに答える。計3問で設問数は減少。昨年の大問1はAとBに分かれていたが、今年は1つにまとまり、昨年のBに近い形式で出題された。易しい単語が多く見られ、解きやすい問題であるが、問3など、全文を読まなければ解けないような問題もあった。	イギリス人が書いた「空飛ぶ乗りもの」を題材にしたブログを読み、内容に関する問いに答える。計4問で設問数は減少。大問1と同様に、昨年はAとBに分かれていたが1つにまとまり、Bに近い形式で出題された。全体としては読みやすく、情報も見つけやすい問題であったが、問2のように、本文と問題の選択肢で、大幅に異なる表現がされている問題もあった。	「コンテストに応募したバンド」に関する物語を読み、出来事を時系列順に並べる問いや登場人物の気持ちについての問題が出題された。計3問で、問1は物語の書き手を選ぶ新しい形式のものだった。英文の語数は300語程度で、設問数は減少したが、選択肢に紛らわしいものが多く、解答に迷う問題もあった。	事前に発表されていた「試作問題B」の形式。「スローライフの実践」についてのレポートと教師からのコメントを踏まえて、原稿を推敲するという形式の問題。ディスコースマーカーの補充や全体の要約になる文、文脈上補う必要がある文を選択し、論理的な文章になるよう適切に訂正するための力が問われている。計4問で、語数は340語程度。4技能のうちの「書くこと」を意識した問題である。	「地元ビジネスに関する会議」について、学生と教授のメールのやり取りを読み、添付された表から必要な内容を読み取ったり、メールの内容を表す図を選んだりする問題が出題された。また、内容から推論して答える問題もあった。語数は530語程度で、計5問。複数の部分を参照する必要がある設問もあるが、そこを見つけたことができれば比較的易しい問題であった。
分析・好評			今後(次年度)に向けての対策	本校生徒へのメッセージ
大問6	大問7	大問8		
作家志望の友人が書いた「2人のスーパーヒーロー」についての物語を読み、その感想を書いたeメールの空所を埋める問題。昨年に引き続き、物語が出題されたが語数は大幅に減少した。計4問。物語が時系列で書かれていないことに加え、物語の設定やeメールは作者に送るためのものであるということを理解する必要があるため、比較的難易度は高かった。	昨年の大問6と形式が似ている。「動物の睡眠パターン」に関する記事を読み、プレゼンのために設けられたメモの空欄を埋める問題。設問はほぼ本文の順番通りに構成されており、パラグラフリーディングが身につけていると解きやすい問題であった。語数は650語程度で、難しい科学用語が多く見られた。	事前に発表されていた「試作問題A」の形式。「宇宙開発」に関する複数の意見と資料に基づいて、3段階のステップを読み、レポートのアウトラインを作成する。英文は450語程度。ステップ1では5人の異なる意見を読み、2つの問いに答える。ステップ2では、5人から自分の立場を支持する2人を選び、共通点を答える。ステップ3では、自分の立場の根拠となるものを追加資料から選ぶ。	共通テストに出題される英文の量は多いように思われるが、昨年と比べると減少している。また単語も基礎的なものが多く、教科書や学校で購入した英単語帳で学ぶことができるものがほとんどである(例えば、大問1から大問3の本文や設問に登場する英単語のうち、旺文社の「英単語ターゲット1400」に収録されているものは約120語で、残りは中学校で習う単語や固有名詞が多数を占める)共通テストでは基礎的な単語の理解が求められ、それと同時に読み返さなくても英文を理解できる読み方を身につける必要がある。	左記で述べたように、共通テストに出題される英単語は基本的なものが多く、決して難しいものではない。また、英文の内容もいわゆる説明文は少なく、パンフレットやブログに書かれている情報を読み取り、問いに対する適切な答えを述べる形式が多いため、基本的な単語と文法に対する知識さえあれば、専門知識がなくても必ず理解できる内容になっている。次年度以降の共通テストに臨む生徒には、「逃げなければ必ず読めるようになる」という気持ちで学習に取り組んでほしい。特別な学習は共通テストには必要ないため、学校の課題には真摯に取り組んでほしい。

